

口腔腫瘍学

授業概要

口腔腫瘍学においては、口腔腫瘍治療の実際について学ぶ。口腔腫瘍の病理をはじめとする基礎事項から、切除・形態再建～インプラントによる口腔機能再建を含めた口腔病変の一貫治療について、最新の治療法を理解する。また、症例カンファランスを通して、治療の実際を学ぶ。

担当教員

関根浄治（主担当）	教授・歯科口腔外科学
管野貴浩	講師・歯科口腔外科
森倉一朗	講師・耳鼻咽喉科
青井典明	講師・耳鼻咽喉科

一般目標 general instructional objectives

1. 口腔癌の実践に必要な基礎的・臨床的知識を獲得する。
2. 口腔癌切除後の形態・機能再建法を理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

1. 各種抗がん剤の作用機序について分類、説明できる。
2. 多剤併用化学療法の原理を説明できる。
3. 放射線治療について説明できる。
4. 口腔癌切除の基本手技を説明できる。
5. 頸部郭清術について説明できる。
6. 歯源性腫瘍の治療の実際について説明できる。
7. 唾液腺腫瘍診断と治療法について説明できる。
8. 口腔癌切除後の形態再建について説明できる。
9. インプラントを用いた口腔機能再建について説明できる。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。なお、講義の順序は変更の可能性あり。

使用テキスト・参考文献

資料は適宜配布する。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	臨床腫瘍学総論	関根浄治
2	口腔腫瘍（歯源性腫瘍・唾液腺腫瘍を含む）の臨床病理学	〃
3	口腔腫瘍の鑑別診断	〃
4	口腔腫瘍における針生検の有効性	〃
5	口腔細胞診	〃
6	口腔癌における Neo-adjuvant chemo-radiotherapy	〃
7	口腔癌手術学	〃
8	口腔癌切除後の軟組織再建法（有茎・遊離皮弁による）	〃
9	口腔癌切除後の硬組織再建法（骨移植・仮骨延長法を含む）	管野貴浩
10	顎顔面外傷の臨床	〃
11	インプラントによる口腔機能再建法	〃
12	頭頸部癌の臨床(I)（症例カンファレンス）	森倉一朗
13	頭頸部癌の臨床(II)（症例カンファレンス）	青井典明
14	頭頸部癌の臨床(III)（症例カンファレンス）	関根浄治
15	総括	〃